

1. 経審博士 15 (+Form) のデータが破損したときの対処

■ 内容

経審博士 15 シリーズを立ち上げたとき「バージョンアップに失敗しました」とエラーメッセージが発生し、プログラムのセットアップを実施したり、SQL server のインストールを実施してもエラーが解除しないときは、現在使用しているデータが破損している可能性があります。

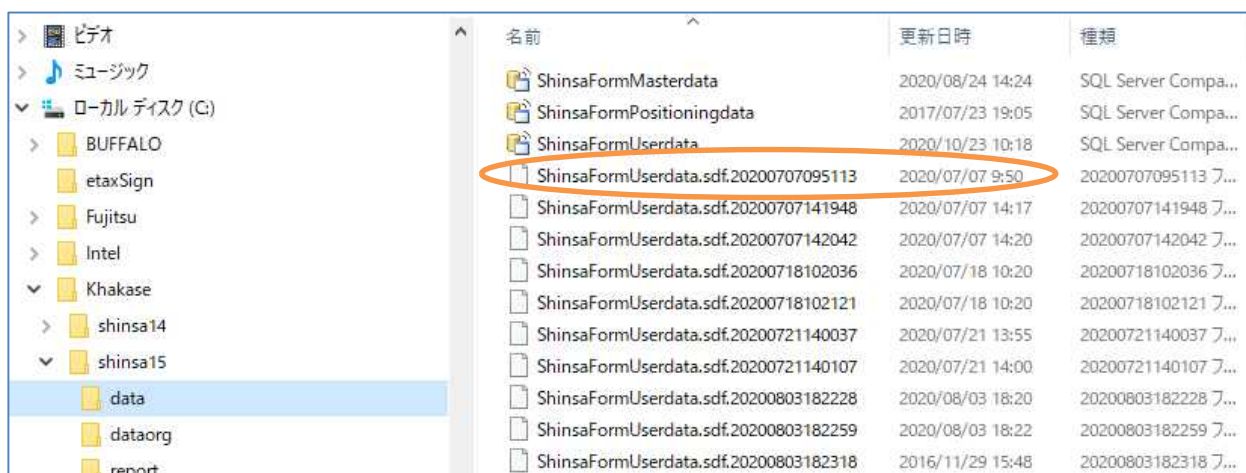
この場合、経審博士 15 のデータのバックアップしているデータを[メニュー]-[ヘルプ]-[経審博士 10~15 のデータ取り込み]で取り込みますが、バックアップしたデータがない時は、PC の OS(Windows 10 等)が自動的にバックアップしたデータがあるか確認し、バックアップデータがあればそのデータを「経審博士 10~15 のデータ取り込み」で取り込みます。

1-1 PC の OS がバックアップしたデータのあるところ

経審博士 15 のデータは、インストール時に指定している場所を変更していなければ

C:\¥Khakase¥shinsa15¥data

にあります。エクスプローラで確認すると下記のイメージとなります。



上から 3 番目の ShinsaFormUserdata.sdf が経審博士 15 のデータです。この下に ShinsaFormUserdata.sdf20200770095113 などように、拡張子 sdf のあとに数値(日付等)がついているものが PC の OS が自動的にバックアップを取ったものです。更新日付を確認し、一番最近に近い日付のデータを現在のフォルダと違う場所にコピーをして、ファイル名の変更で拡張子の後ろの数値を取り、拡張子を sdf に変更します。

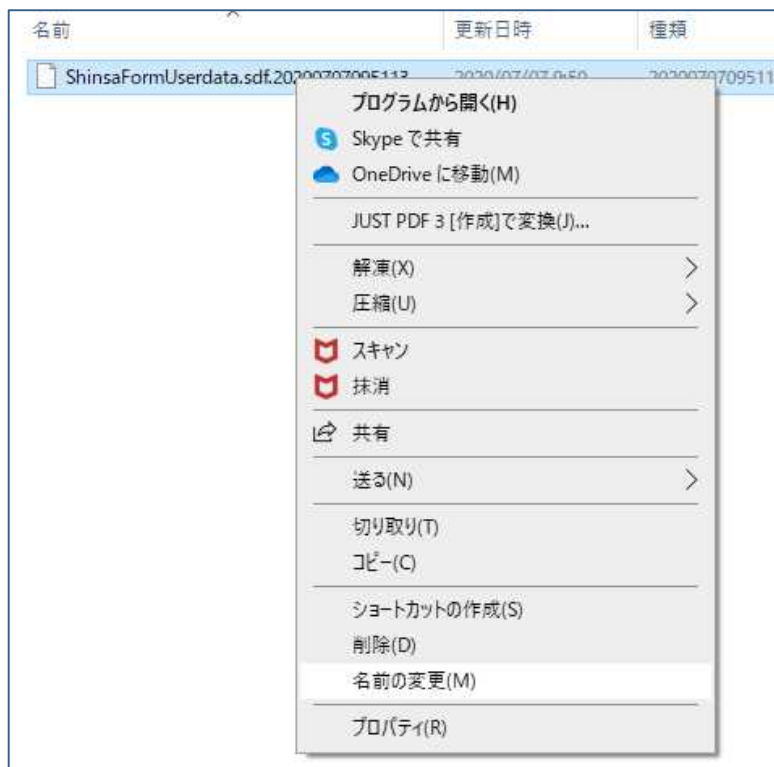
ShinsaFormUserdata.sdf20200770095113 → ShinsaFormUserdata.sdf

この拡張子を変更したファイルを「経審博士 10~15 のデータ取り込み」で取り込みます。これで日付までのデータまで復帰することができます。もし、このデータでも当初のエラーが出るようであれば、別の更新日付のデータで実施してみてください。

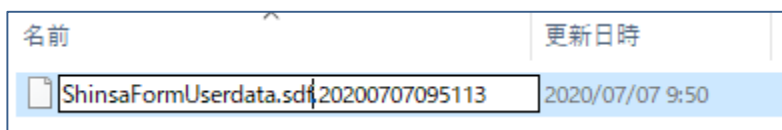
次ページに「ファイル名の変更方法」と「データを取り込みする方法」掲載します。

1-2 ファイル名の変更方法

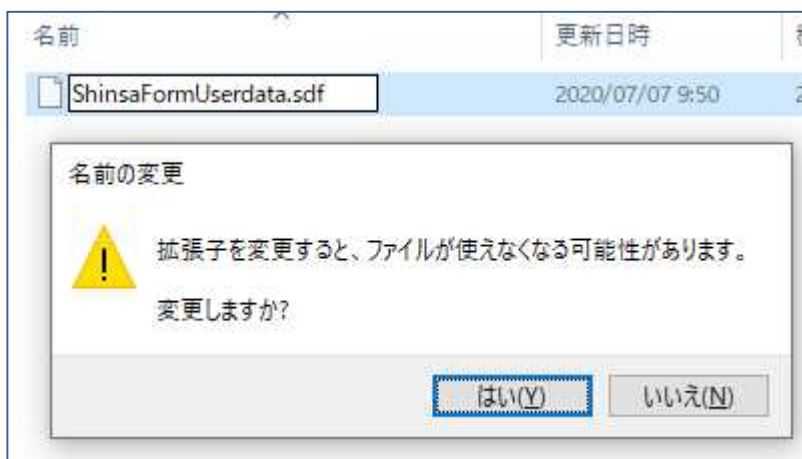
【1】コピーしたファイルにマウスを合わせて右ボタンをクリックすると右の図のメニューが表示されますので、下から2番目の「名前の変更」をクリックします。



【2】ファイル名を変更できるようになりますので、拡張子の sdf より後のカンマと数値を全て削除します。



【3】下記のメッセージが表示されますが<はい(Y)>をクリックして名称を変更します。



【4】名称の変更ができましたら次ページの「データを取り込み」を実施します。

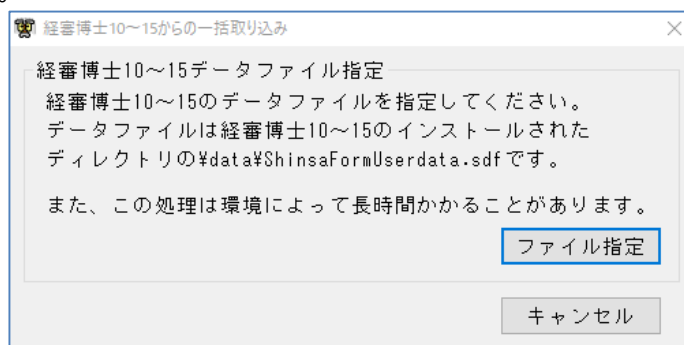
1-3 経審博士 15 (+Form) のデータを取り込みする方法

コピーされる PC の経審博士 15 (+Form) を起動して [メニュー] - [ヘルプ] - [経審博士



【1】コピーされる PC の経審博士 15 (+Form) を起動して [メニュー] - [ヘルプ] - [経審博士 10~15 データ取り込み] を指定します。

【2】「経審博士 10~15 からの一括取り込み」の画面になりますので、
 <ファイル指定>ボタンをクリックします。



【3】「1-2 ファイル名の変更方法」

で、ファイル名を変更した SinsaFormUserdata.sdf を指定します。

【4】取り込み確認の画面がでますので取り込むときは、<OK>ボタンをクリックします。

【5】「経審博士 10~15 のデータを反映しました。」のメッセージで<OK>をクリック。

【6】一旦、経審博士 15 を自動的に経審博士 15 を終了しますので、再度、プログラムを立上げてデータが移行されたか確認をしてください。

以上